

“ふじのくに森の防潮堤づくり” による海岸防災林の機能強化



中東遠地域（磐田市、袋井市、掛川市、御前崎市）では、津波防御の一翼を担う“ふじのくに森の防潮堤づくり”に取り組んでいます。防潮堤の切れ間ない整備に向け、これまでのマツが枯損している区間だけでなく、マツが枯損していない区間も含め一体的な整備に着手しました。

◆ふじのくに森の防潮堤づくり

県は、地域の自然環境と調和し、平時は県民の憩いの場となり、有事には津波に対する多重防御の一翼を担う“ふじのくに森の防潮堤づくり”を推進しています。

中東遠地域では、各市が海岸防災林を防災上必要な高さまで盛土した上に、県が生育基盤となる土を被せ、マツ材線虫病への抵抗性を持つクロマツや広葉樹を植栽しています。



“ふじのくに森の防潮堤づくり”完成箇所（磐田市中平松）

◆マツが枯損していない区間の一体的な整備

当初、マツ材線虫病や高潮などによりマツが枯損し、防災林の防風、飛砂防止等の機能が失われている区間の再整備を実施していました。しかし、津波防御の一翼を担うには切れ間ない防災林の嵩上げが必要であり、地元からの強い要望を受け、マツが枯損していない区間においても、一定の要件が整えば、防災林の機能強化を目的とする植栽等を治山事業で実施することについて国と調整し、合意を得ました。

◆マツが枯損していない区間の着手

マツが枯損していない区間が長い磐田市では、令和元年度から防災林の機能強化に着手しています。

マツが枯損していない防災林は、現に防風、飛砂防止等の公益的機能を有しており、伐採することによりその機能が一時的に低下します。できるだけ後背地への影響を小さくするため、防災林の一部を残置するとともに、一時的な機能低下や植栽木の成長に時間がかかることについて、地元住民の理解を得ながら進めています。



防災林の機能強化の計画箇所（磐田市福田）

◆森の防潮堤づくりの進捗状況

マツが枯損していない区間を含め全体計画を見直した結果、計画延長は約 15.6 km から約 20.6 km と増加しましたが、整備は順調に進んでいます。

“ふじのくに森の防潮堤づくり”進捗状況 (m)

市	全体計画	うち枯損していない区間	R2 まで	進捗率
磐田	6,994	(4,507)	1,683	24%
袋井	5,350	(763)	4,024	75%
掛川	7,330	(700)	3,273	45%
御前崎	917	-	917	100%
計	20,591	(5,970)	9,897	48%

生物多様性の保全に向けた取組



県は、平成30年3月に「ふじのくに生物多様性地域戦略」を策定し、生物多様性の保全と持続可能な利用に向け、県民や事業者など、さまざまな人たちと協働した取組を行っています。



◆新たな森づくりのモデル構築

里地・里山では、森林所有者、地域住民、森づくり団体の連携による保全活動が行われ、一般の方が森づくりへ参加する機会にもなっています。

一方で、ライフスタイルの変化とともに利用が少なくなり、生物多様性が失われつつあります。

そこで、里地・里山の生物多様性の魅力に焦点をあて、その魅力を引き出し、保全活動の活性化を図る「新たな森づくりのモデル構築」のための研修会を開催しました。

研修会に参加した森づくり団体は、アカマツ林、スギ・ヒノキ林、水辺の広葉樹林、竹林など、団体ごとの活動の内容や目標にあわせテーマを決定し、講師と議論を交わしながら、効果的な保全方法などについて検討を行いました。

また、メンバー全員が意識、情報を共有できるようワークショップを取り入れるなど、より実践につながる研修会となりました。



山田辰美教授による水辺の生物の解説(牧之原市切山)

県は、研修会の内容や先進事例をまとめたガイドブックを作成しました。今後は、森づくり団体へ普及するとともに、県民の森などの施設利用者に向けて、里地・里山の生物多様性の保全にもつながる森づくり活動への参加を呼び掛けていきます。

◆南アルプスの絶滅危惧種の保全

南アルプスは、3千m級の山々が連なり豊かな自然と美しい自然景観を有する日本を代表する山岳地域です。日本アルプスの最も南に位置し、氷河期からあまり姿を変えていない遺存種や分布の南限種が多く確認されています。この豊かな自然環境等が認められ、ユネスコ人間と生物圏(MAB)計画の一環として、平成26年に生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)に登録されています。

南アルプスの生物多様性を保全し、未来へ継承するため、「南アルプス高山植物種子保存プロジェクト」を新たに立ち上げ、その第1弾として、タカネマンテマの種子増殖に取り組んでいます。

タカネマンテマは、静岡県を分布の南限とする絶滅危惧種で個体数が極めて少ないことから、絶滅危惧IA類(国、県)に区分されています。この南限の絶滅危惧種を救うため、知事から県立磐田農業高等学校を「ふじのくに生物多様性地域戦略推進パートナー」に委嘱し、凍結種子を用いた種子増殖プロジェクトが進められています。この取組は、希少種の保全のみならず、次代を担う人材の育成や学術研究の発展にもつながるものと期待されています。現在、全国で初めて凍結種子の発芽に成功し、種子保存に向けた挑戦が続けられています。



委嘱状交付式(県庁)とタカネマンテマ

フェイスブックで紹介 森林との共生に向けた取組

県は、森林に関心を持つ皆さんと、Facebook「ふじのくに森林の都しずおか」でつながっています。令和2年度は、県内各地で行われている森林との共生に向けた270件の記事を掲載し、閲覧数は7.7万件となりました。



Facebook「ふじのくに森林の都しずおか」

【発信した主な記事】

発信日	内容	場所
4月13日	流木捕捉式治山ダムを施工しました。	浜松市
14日	「SGEC森林認証材を運搬しています」マグネットシートを作成しました！	静岡市
22日	第7期静岡県森林県民円卓会議（④天竜地域）の活動報告	浜松市
5月1日	新型コロナウイルス感染症で影響を受ける林業・木材産業者の皆様へ	全県
18日	「企業の皆様、働く皆様へ」新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援策	全県
30日	シカにGPS首輪を自動装着！	浜松市
31日	新静岡セノバ地下道にオクシズ材を使用したデジタルサイネージが設置されました。	静岡市
6月4日	静岡県立農林大学校の学生が「森の力再生事業」を学ぶ	浜松市
23日	株式会社朝倉工務店が湖西市立知波田小学校周辺の竹やぶを「森の力再生事業」で整備しました。	湖西市
26日	新型コロナウイルス感染症対策 オクシズ材を使った開仕切り「エイミー」の生産を開始～株式会社GR静岡（静岡市駿河区）～	静岡市
28日	森林認証製品を購入して森林づくりを応援しよう。	全県
7月1日	山版崩壊箇所の復旧工事を行っています～3基目の治山ダムが完成～	浜松市
3日	富士ヒノキ製おもちゃを赤ちゃんに贈呈	富士市
6日	治山パトロールを実施しました。	富士市
27日	高校生が考える「林業の魅力」	島田市
29日	第1回シカ被害対策技術検討会の開催	静岡市
8月1日	林道災害復旧工事が完成～焼津市（畑沢線）～	焼津市
13日	裾野市の大型商業施設で県産木材が利用されています。	裾野市
14日	県立浜松湖北高校佐久間分校の生徒が林業について学びました	浜松市
9月7日	自然ふれあい施設の「県民の森」 県立森林公園 「森の家」が指定管理者評価委員会での高評価を得ました！	富士宮市
8日	令和2年度ナラ枯れ被害対策講習会を開催します。	富士市
12日	令和2年度版静岡県森林共生白書が公表しました	全県
20日	低コスト主伐・再造林成果報告会の動画を配信しています。	浜松市

発信日	内容	場所
10月6日	静岡市中心街にオクシズ材を利用した憩いの場が誕生	静岡市
15日	「第3回ふじのくに木使い建築施設表彰式」を開催しました。	静岡市
20日	【第1回】オクシズ「漆」の学校の開催 ～漆と日本文化～	静岡市
24日	「しず子カフェ 一茶 Seasonal(シーズナル)」が期間限定でオープンしました。	静岡市
11月9日	細江県有林において森づくり活動の協定を締結しました。	浜松市
12日	「第3回ふじのくに木使い建築施設表彰」受賞施設を紹介～tayutau-HUT～	浜松市
24日	イノシシ及びニホンジカ狩猟解禁日における狩猟指導取締りの実施	下田市
26日	令和2年7月豪雨災害の復旧工事を実施します	浜松市
12月8日	令和2年度静岡県森林・林業技術研究発表会を開催しました	静岡市
20日	榑渡辺兄弟工業が令和2年度治山・林道コンクールで林野庁長官賞を受賞しました。	静岡市
28日	ふじのくに林業イノベーションフォーラムを設立しました～フォーラム会員募集中～	全県
29日	「劇的オクシズ林業写真」を撮影しました！	静岡市
1月6日	森の力再生事業についてYouTubeで御紹介！	全県
10日	（農林大学校だより）林業への無人航空機等の活用	浜松市
18日	（農林大学校だより）津波被害の軽減を目指して（海岸林植栽）	浜松市
2月4日	「宮本卓明氏が知事褒賞を受賞①」「自然と調和した木材生産作業システムの若きエキスパート」	静岡市
19日	県立天竜高校森林科の2年生が高性能林業機械講座を受講	浜松市
21日	タリーズコーヒー富士市中央公園店「富士山の日」月間で、フジヒノキメイト製品・パネル等を展示しています	富士市
3月8日	今井保隆氏が緑化功労者「国土緑化推進機構会長賞」を受賞	浜松市
16日	低コスト再造林につながるか！大苗木の試験植栽を行いました。	富士宮市
24日	「バードピア浜北」リニューアルの取組が関東森林管理局森林・林業技術等交流発表会において最優秀賞を受賞しました。	浜松市

○Facebook で閲覧件数の多かった主な記事



森の力再生事業について YouTube で御紹介！(1/6)



低コスト主伐再造林につながるか！
大苗木の試験植栽を行いました。(3/16)



「劇的オクシズ林業写真」を撮影しました！(12/28)



株式会社兄弟工業が令和2年度治山・林道コンクールで
林野庁長官賞を受賞しました。(12/20)



(農林大学校だより) 林業への無人航空機等の活用(1/10)



「バードピア浜北」リニューアルの取組が関東森林管理局森林・
林業技術等交流発表会において最優秀賞を受賞しました。(3/24)



静岡市中心街にオクシズ材を
利用した憩いの場が誕生(10/6)



富士ヒノキ製おもちゃを
赤ちゃんに贈呈(7/3)



タリーズコーヒー富士市中央公園店で
フジヒノキメイド製品等を展示(2/21)